

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた 市長メッセージ

市民の皆さん、秋田市長の穂積志です。

県内において新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が再び急増し、県独自に「医療ひっ迫宣言」を発令する中、本市においても、高齢者施設や病院でクラスターが多発するなど、いまだ高止まりの状況にあります。重症化しやすい高齢者の割合も依然として高く、病床使用率は50%前後で推移しています。

これから年末年始を迎え、県外との往来など人の移動が活発になるほか、季節性インフルエンザとの同時流行の可能性もあり、今後、医療提供体制への影響が懸念されます。

市民の皆様には、帰省されるご家族が、高齢の親族など多くの人と接触する場合には、事前に検査を受けるようお伝え願います。

また、重症化リスクの低い方は、自宅療養に備え、検査キットや解熱剤、食料などを事前に準備していただき、感染が疑われる症状がある方は、自宅で検査を行い、陽性反応が出た場合は、「検査キット配付・陽性者登録センター」に登録するなど、医療ひっ迫を避ける行動をお願いいたします。

なお、年末年始に開設する16の医療機関については、本市のホームページで公表しているところではありますが、さらなる対応として、本市では、県医師会、市医師会、大学病院等のご協力を得て、12月31日と来年1月2日の2日間、川尻にある秋田県総合保健事業団中央健診センターに「臨時発熱外来」を開設することといたしました。

この「臨時発熱外来」は中学生以上の方を対象に、ドライブスルー方式で行います。受診者は、はじめに抗原検査キットによる自己検査を行います。その結果を受けて医師が診察し、必要に応じて解熱剤などを処方します。受付時間は、9時から10時30分までと13時から14時30分までとします。予約は不要ですので、発熱や咽頭痛など体調が悪い方は、ご利用いただきますようお願いいたします。

令和4年12月28日 秋田市長 穂積 志